

フェルトパンチャーでつくる 羊毛フェルトのお雛様

<作り方>

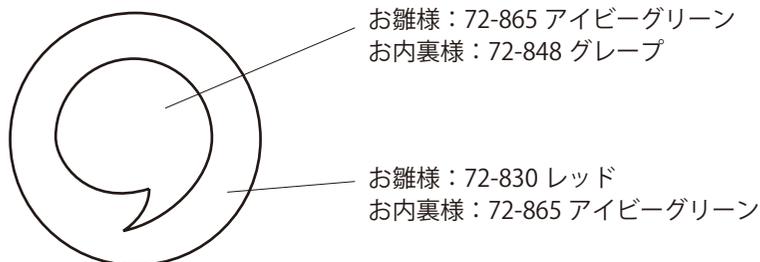
- ①頭と体の土台を作ります。毛糸を巻いて直径約3cmの毛糸玉を4個作ります。
- ②①で作った毛糸玉の2つがお雛様・お内裏様の頭になり、残りの2つが体になります。頭になる毛糸玉全体にパフウール（72-883 シャンパーニュ）を刺し付けます。



- ③体になる毛糸玉には、まず上半分に半襟の色のパフウールを刺し付け、その後着物の色のパフウールを刺し付けます。写真のように襟部分から差し付けます（色については下のイラストをご参照ください）。お雛様には扇を、お内裏様にはしゃくをそれぞれ刺し付けます（2枚目のイラストを参考にしてください）。



<体部分を真上から見た図> ※実物大



デザイン／高田 とよか

<使用道具>

フェルトパンチャー<1本針>
フェルトパンチャー用スポンジマット
待針
手芸用ボンド

<材料>

毛糸 適宜
パフウール 各1袋(5g)
72-830 レッド
72-831 コーラルレッド
72-839 ホイップピンク
72-848 グレープ
72-865 アイビーグリーン
72-881 マリーゴールド
72-883 シャンパーニュ
72-888 ショコラ
刺し目(3mm) 4個

④頭を作ります。

お雛様：イラストを参考に、土台に水性チャコペンで顔と髪の毛の境界線を描きます。
 線に沿って髪の毛部分にパフウールを刺し付けます（後ろの髪の毛とリボンはこの時点ではまだ付けません）。
 髪の毛ができれば、冠を刺し付けます。まず中央の丸（約直径1cm）を刺し付け、
 そのまわりに小さな円（直径約5mm）を描くように刺し付けてから
 小さな円と中央の円をつなげるようにパフウールを足して形を整えます。

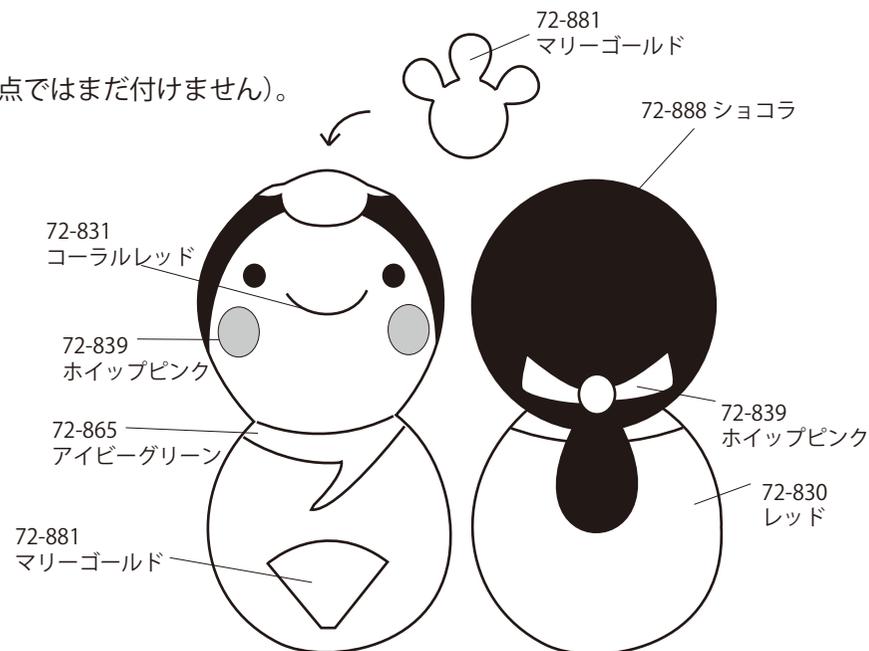
お内裏様：頭頂部に烏帽子を刺し付けます。
 まず直径約1.5cmの円を、高さが8mmほどになるまで盛り上げて刺し付けます。
 別途直径約7mm、高さ約1cmの円柱形のパーツを作り、頭頂部に刺し付けた円の
 後ろの方に刺し付けます。

⑤顔を作ります。

目の位置を待針などを使って当たりをつけ、位置が決まったら刺し目をボンドで付けます。
 口と頬（頬はお雛様のみ）を刺し付けます。

⑥頭と胴体をフェルトパンチャーで刺して付けます。お内裏様はこれで完成です。
 お雛様は、後ろの髪の毛を頭から胴体にかけて3mmほど盛り上げるように刺し付けます。
 最後にリボンを刺し付けて完成です。

<実物大イラスト>



<参考写真>

